

ユルグ MR-2 録音データの処理・保存の考え方

基本的に音楽 CD 1 枚分 (約 700MB) を処理、保存の単位とする (大体 5 ~ 10 トラック、5 ~ 10 分/トラック)。

- 1 PC のマイ・ドキュメントに AudioGate が MR-2 の録音データを受け取るフォルダ (例えば「Song List」) を作成しておく。
- 2 MR-2 の「プロジェクト」(というデータのセット)「Song List」へ移す (MR-2 から切り取ってしまう)。
- 3 AudioGate ソング・リストに、作業が必要な「プロジェクト」をオーディオファイルとして認識させる (「ファイル」→「オーディオファイルを追加」)。
- 4 AudioGate で音楽ファイルの「タイトル」「アーティスト」について確認と編集を行う。  
注) AudioGate には「カレント・ソング」(再生中もしくは再生停止中) という概念があり、タイトルなどの編集はこれに対してのみ有効。
- 5 PC のマイ・ドキュメントの My Music へ 16bit/44.1kHz などで出力し、いったん保存する。
- 6 録音ファイルについて作業が必要な場合は AudioGate の「ファイル」→「オーディオファイルを追加」から、このファイルを AudioGate の「ソング・リスト」に認識させる。
- 7 音楽 CD を制作する場合、「ソング・リスト」上から必要なファイルを選び、あるいは全てを選択して CD を焼けばよい。

以上